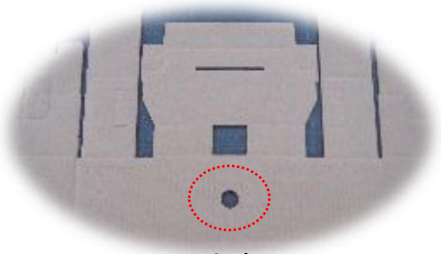
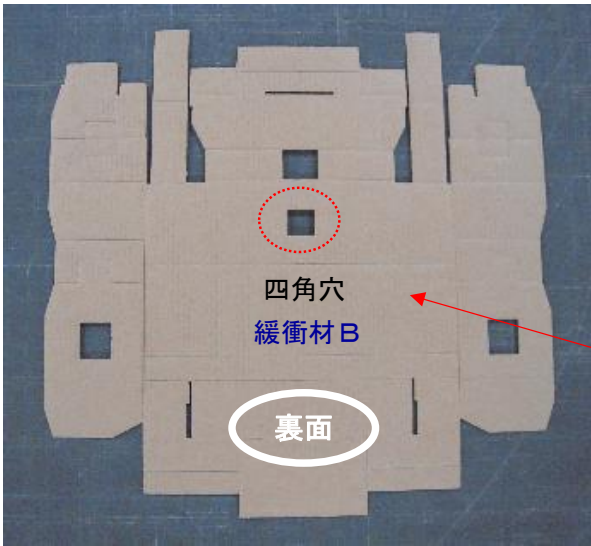


きょうぎ かだい かんしょうざい くみため けつそく
【競技課題 1】 緩衝材の組立・結束

てん かい ず
展 開 図



※緩衝材は2種類あります

※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

かん せい ず
完 成 図

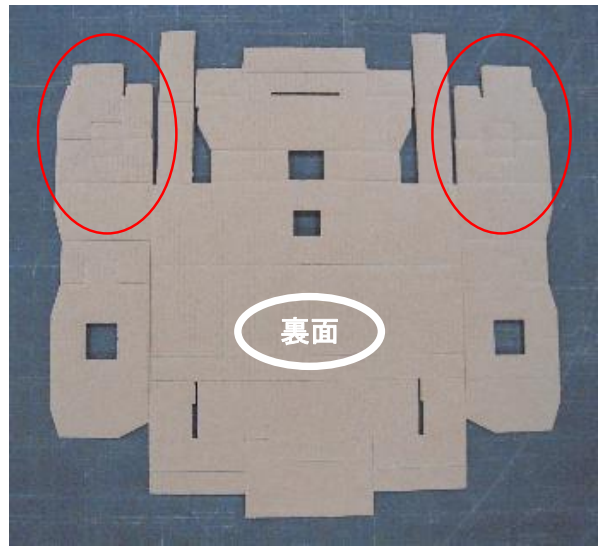


組立完成図

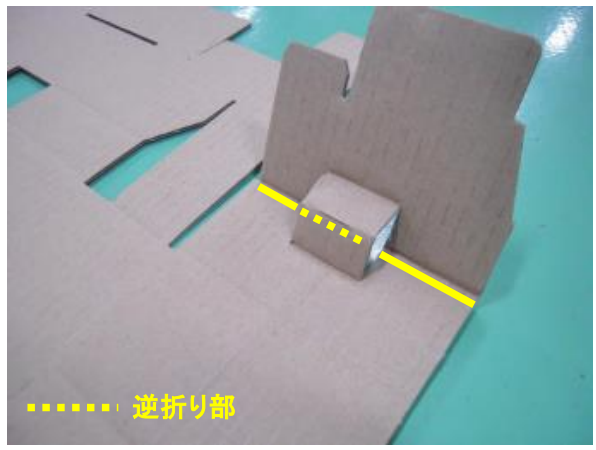


結束完成図

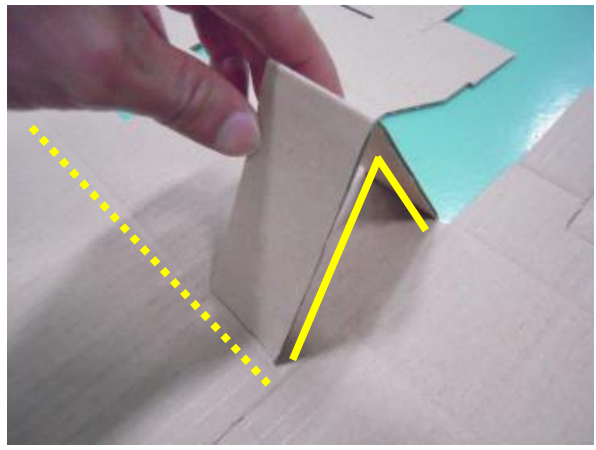
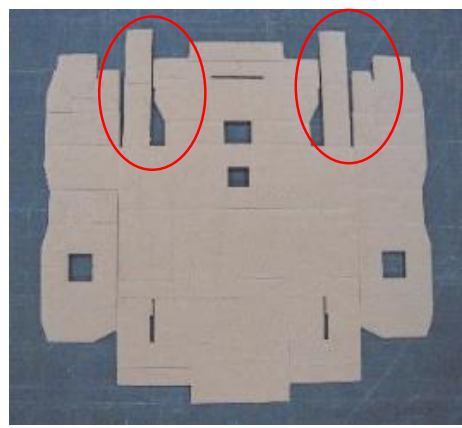
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な折り方は共通です。(写真は緩衝材B)
 緩衝材の裏面を上にし折ります。
 最初に○印の箇所から折ります。



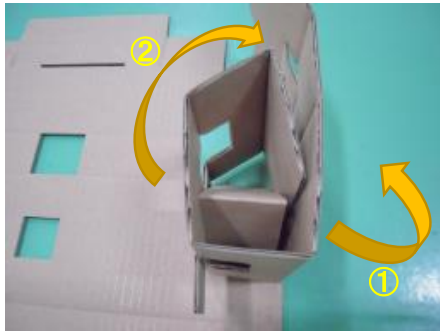
2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



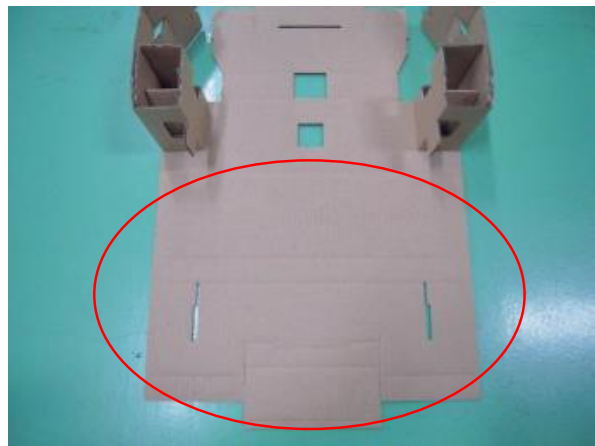
3. ○部を点線部分の罫線に合わせ折り込み三角をつくる。



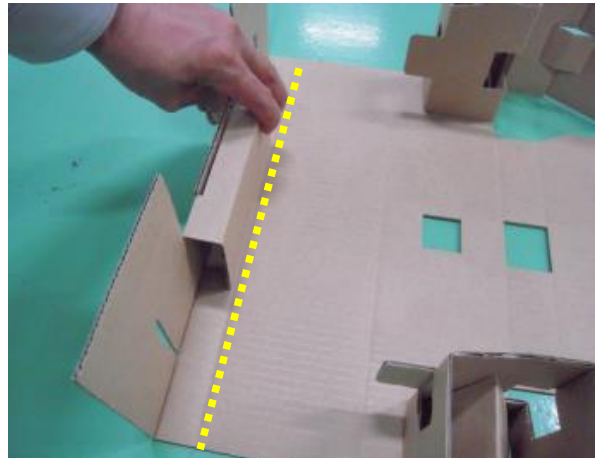
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



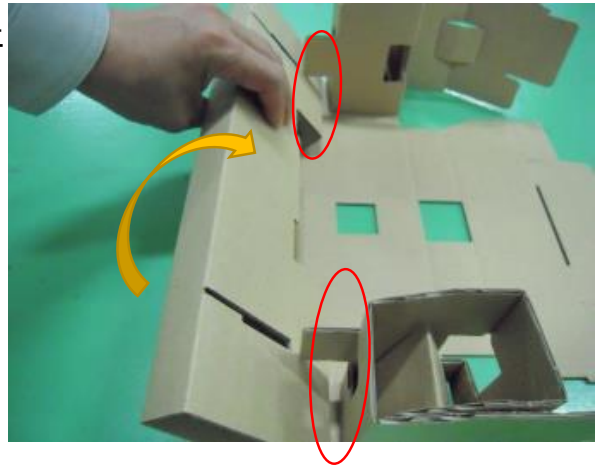
5. ○で囲んだ部分を折ります。



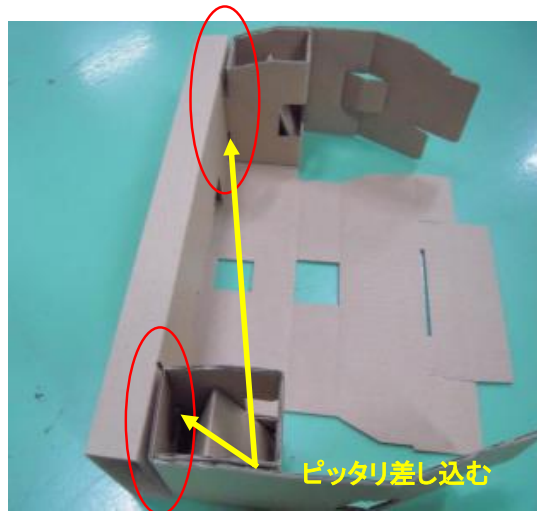
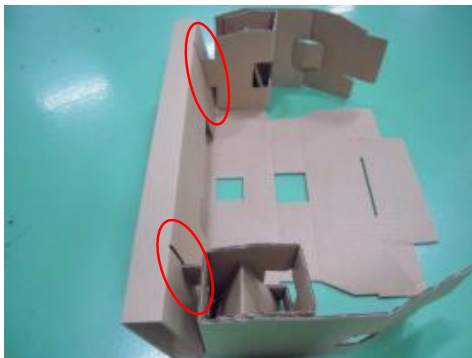
6. 中心部を点線部の罫線に合わせて折ります。



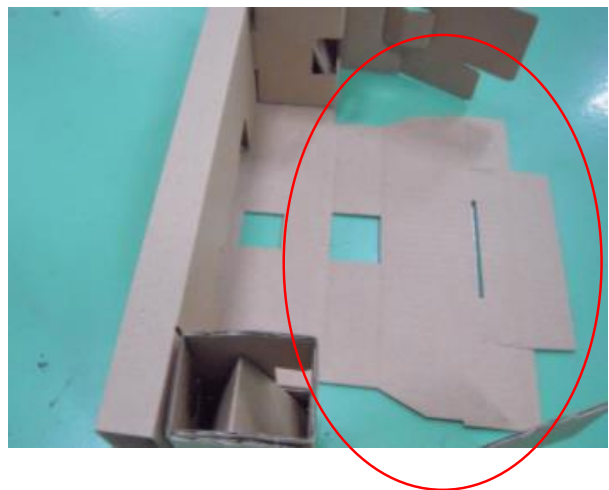
7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込む。



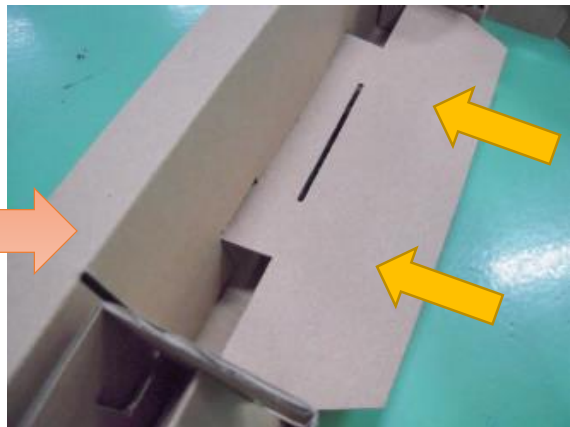
8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら全体を立ち上げ折り込む。



9. ○で囲んだ部分を折ります。



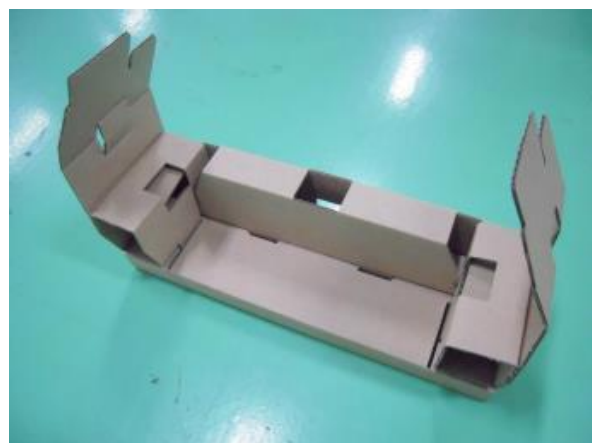
10. 先端部3か所を折りながら矢印方向におこし折り込む。



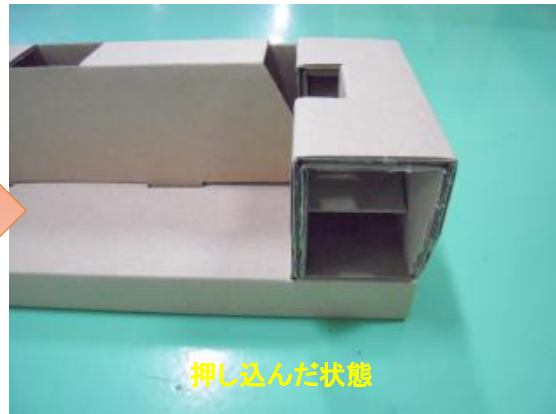
11. 全体をおこし折り込み、本体にピッタリとおこし押し込む。



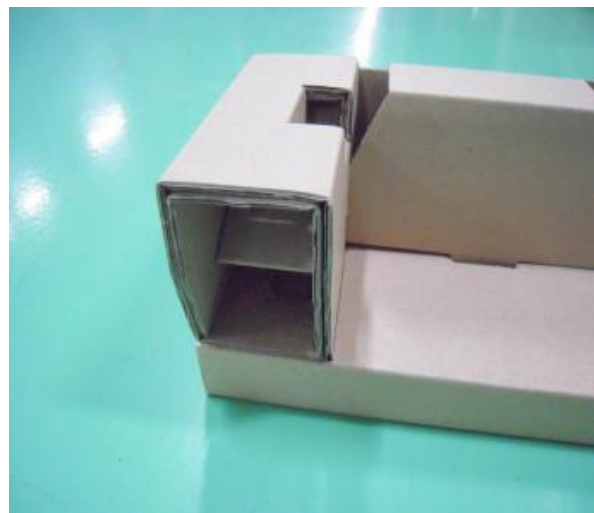
12. 袖部が上にくるように向きを変える。



13. 袖部を罫線に合わせて折り込み、先端部を本体に差し込む。



14. 反対側も同様に、本体に差し込む。



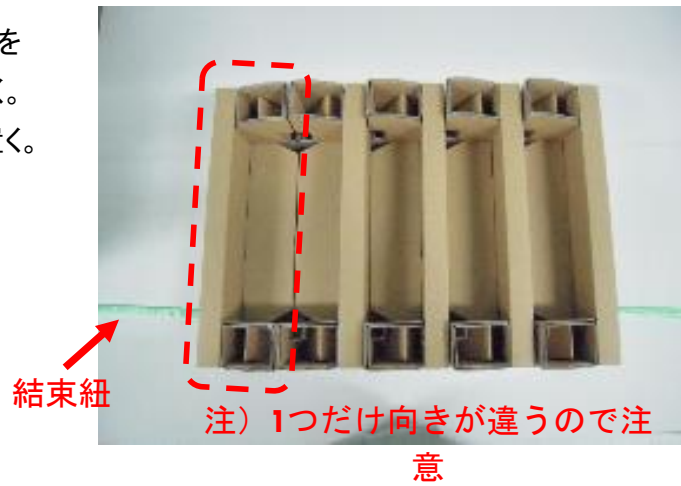
15. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認し完成。これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ5個ずつ完成させる。



16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



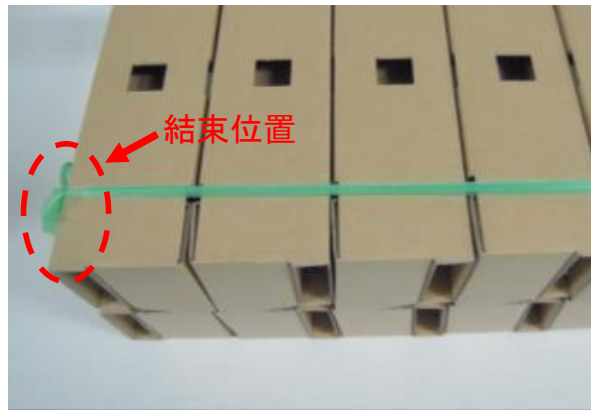
17. 設置した結束紐の上に緩衝材5個を
結束紐が端側位置にくるように置く。
置く際は○口穴が下にくるように置く。



18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材
(○穴であれば□穴、□穴であれば○穴)を
5個、穴が上にくるように置く。



19. 緩衝材の端から10cm以内の角で
 けっそく 結束する。結び方は自由。
 ただし、8cm以内の結び目で容易に
 と 解く事が可能な結び方にする。
 また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の
 かんかく 間隔が5cm以内になるようにする。



※課題2では、自ら作成した製品の
 ひも と 紐を解いて使用します。

20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の
 はし 端にくるように設置する。



21. 緩衝材の角で結束し完成。



※例として横に置いた状態での結束方法を紹介していますが、
 たて 縦に置いた状態での結束でもOKです。